

佐久市協働のまちづくり推進会議 会議記録（要旨）

日 時：令和3年6月21日（月）

13：30～15：15

場 所：佐久市役所 8階大会議室

出席者：佐久市協働のまちづくり推進会議委員9名（欠席3名）

事務局（広報広聴課長・広報広聴課職員・望月支所職員）5名

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議事項

（1）佐久市まちづくり活動支援金優良事業について

- ア 令和2年度に佐久市まちづくり活動支援金の交付を受けた7事業の審査
- イ 事務局より優良事業表彰に係る内規及び審査基準、審査の流れ等について説明
- ウ 事務局から事業概要及び実績報告について説明
- エ 審査
- オ 事務局より結果発表
 - 最優秀賞：優秀賞の最上位事業 1件
 - 優秀賞： 審査基準を上回った事業 6件 を決定

（2）佐久市の協働事業について

- ア 事務局より、令和2年度市民等と市との協働事業について説明
- イ 委員からの意見

委員：当日、情報量の多い資料を配布されて、その場で意見を求められても答えられない。

事務局：次回の会議の前に、協働事業の状況を分析した資料を送付した上で、改めてご意見をいただくようにします。

委員：全部の事業を説明されてもわからないので、ポイントを示すようにしたらどうか。

事務局：全体の総括や、今後の方向性について、お示しした資料を作成します。

委員：この協働事業に対しての意見は次期計画づくりに関係するのかわ。

事務局：計画の骨子案については、次回の7月の会議でご審議いただく予定だが、この協働事業の分析の中から次期計画に反映すべきことがあればつなげていく。会議でいただいた意見は様々な形で計画づくりへつなげていきたいと考えている。

講評（会長より）

協働事業自体、前年比で減少しており、コロナ禍の影響が無視できない。分析を続け、今後の活動の在り方も検討いただきたい。

(3) 佐久平地域まるごとキャンパス事業について

ア 事務局より、事業概要を説明。また、プログラム検討委員について、推進会議より2名を推薦するよう、運営事務局のサポートセンターから依頼が来ている旨を説明。

イ 委員からの意見

委員：キャンパスというと、決まった場所にみんなが集まってというイメージがあるが、どこで何をやっているかわからないと、市民に伝わらないまま終わってしまう可能性がある。市全体に効果が波及するように工夫を。

事務局：市民活動団体の普段の活動の中で体験していただくプログラムなので、それぞれの活動拠点で、学生たちが行きたいと思う場所へ行ってもらおう。活動プログラムの内容は、プロのライターさんが取材のうえSNS上で発信する予定。広報の仕方は事務局のサポセンと検討する。

委員：コロナ対策はどうするか。

事務局：プログラム提案時に、コロナ対策についても同時に提案していただく予定。リモートでの企画会議への切り替えなど、感染レベルに応じた開催ができるように準備する。また、県外に在住の佐久地域出身の大学生なども参加できる要件になっているが、募集自体を県外へは積極的に行わないこととし、県外からの参加は警戒レベルによってはお断りする場合も想定しながら、事務局のサポセンと相談して進める。

ウ プログラム検討委員会への推薦2名について

事務局案により、金澤副会長、横森委員が参加することとして会議で諮り、決定

4 その他

事務局：次回の会議は7月中に開催予定、優良事業表彰について審議予定。

優良事業表彰の日程は、受賞団体とも日程を確認のうえ、8月中に実施を予定。

5 閉会